



目次

- ◆ヘリコバクター・ピロリ菌について……………1
- ◆長崎病院居宅介護支援センター……………3
- ◆訪問看護ステーションながさき……………3
- ◆外来担当医表, お知らせ……………4

編集・発行

医療法人 厚生堂 長崎病院
 広島市西区横川新町3-11
 TEL (082)208-5801(代)
 FAX (082)208-5821
 URL <http://www.nagasaki-hp.jp>

ヘリコバクター・ピロリ菌について

医師 矢川 智仁

ピロリ菌とは

最近話題になっているピロリ菌とは、正式にはヘリコバクター・ピロリという細菌で、胃の中に生息しています。また、多くの研究により、ピロリ菌が慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍、胃がんなどの原因になっていることがわかっています(図1)。



図1

ピロリ菌の感染については、さまざまな説がありますが、口から感染し(とくに感染しやすいのは乳幼児期と考えられています)、ヒト-ヒトで経口感染しますが、感染経路は環境因子や家族内感染などさまざまな要因が考えられています。ピロリ菌が胃の中にいる人は、口の中にもピロリ菌がいて、唾液を介して感染することもあります。

最近、親世代の感染率が低くなり、衛生環境も良くなっているため、子どもの感染率は非常に低くなっています。現在、日本でピロリ菌に感染している人は少なくとも3,000万人以上といわれています。とくに50歳以上の人で感染している割合が高いとされています。しかし、衛生環境が整ったことにより、ピロリ菌に感染している割合は年々減少しており、若い世代では低くなっています。今後は、ピロリ菌に感染している人はますます減っていくと予想されています。

ピロリ菌に感染すると胃炎になります。ピロリ菌

による胃炎は、萎縮性胃炎、胃潰瘍・十二指腸潰瘍、胃過形成性ポリープ、胃がん、胃MALT(マルト)リンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病など、いろいろな病気の原因であったり、病気と関連することがわかっています。また、胃潰瘍や十二指腸潰瘍の患者さんの80~90%はピロリ菌に感染していて、ピロリ菌が胃・十二指腸潰瘍の原因になっているとわかっています(図2)。

胃十二指腸潰瘍の患者さんのピロリ菌感染率



図2

ピロリ菌を除菌すると、潰瘍の再発は6~8割防ぐことができるので、ピロリ菌感染があれば、除菌治療を行うべきです(図3)。

除菌ができなかった場合

除菌できた場合

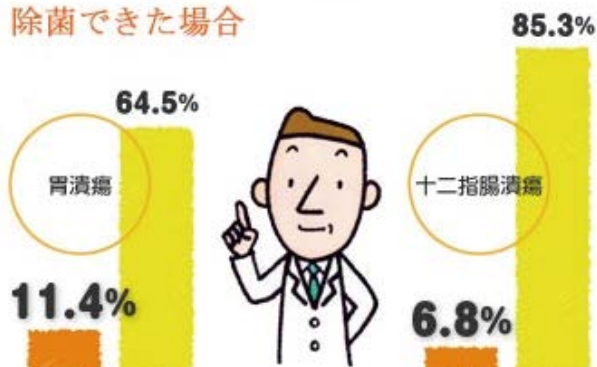


図3

次頁へ続く

また、早期胃がんに対して内視鏡治療を受けた患者さんにピロリ菌を除菌することにより、別の部位とできる新しい胃がんの発症率が3分の1に減少するという報告もあります。

現在のピロリ菌の検査・治療適応

2013年2月から、胃十二指腸潰瘍に加えて、胃の内視鏡検査で「ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎」と診断された人は、保険を使ってピロリ菌の検査・治療を受けることができるようになりました。ピロリ除菌により胃炎の進行を予防し、胃がんの発症を抑制することができます。

1) ピロリ菌の検査 (内視鏡検査を使う方法)

◎培養法

採取した胃の粘膜を培養してピロリ菌の有無を判定する検査です。結果がでるまで 5~7日程度かかります。

◎病理検査 (組織鏡検法)

採取した胃の粘膜を顕微鏡で観察し、菌の有無を調べる検査です。

◎迅速ウレアーゼ検査

採取した胃の粘膜を特殊な液と反応させ、色の変化を見て菌の有無を判定する検査です。

2) ピロリ菌の検査 (内視鏡検査を使わない方法)

◎尿素呼気試験

診断薬を服用し、服用前後の呼気を集めて診断します。最も精度の高い検査法です。

◎血液または尿中抗体検査

ピロリ菌に感染すると体の中に抗体ができます。この抗体の有無を血液や尿で調べる検査法です。もっとも簡便な検査法の 1つです。過去の感染でも陽性になります。

◎便中抗原検査

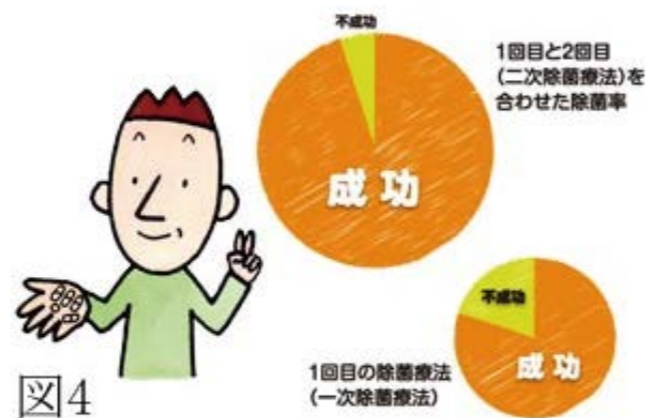
糞便中のピロリ菌を調べる検査で、現在ピロリ菌に感染しているかどうかわかります。

ピロリ菌除菌治療について

通常は 3種類の薬を朝夕2回、7日間服用するだけです。初回の除菌には、胃酸の分泌をおさえる胃薬 (プロトンポンプ阻害剤) と2種類の抗生物質 (アモキシシリンとクラリスロマイシン) を用います。約7~8割の方は除菌に成功します。もし、これで除菌できなかった場合は2次除菌として、初回使用した抗生物質を変更します。再除菌では、8~9割が成功します (図4)。

注意点として、薬を服用する期間はお酒、アルコールを摂取すると胃酸分泌が増加し、抗生物質の

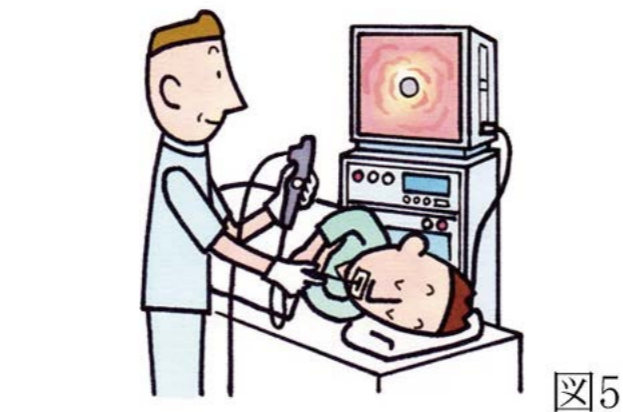
効果が弱くなるため、ピロリ菌除菌率が低下するといわれており、控えることが望ましいです。また、薬のアレルギー、とくにペニシリンアレルギーといわれたことのある方は、薬を飲み始める前に必ず主治医に相談してください。他に服用中の薬がある場合も、除菌の薬が影響することがありますので、必ず主治医にお知らせ下さい。



除菌成功後の注意点

除菌成功後の副作用として、逆流性食道炎があります。原因は、ピロリ菌を除菌することで、胃が今までより元気になり、胃酸分泌が増加し、食道に胃酸が逆流して、胸焼けなどの症状が起こるのです。一時的なものが多く、重篤な症状になることはまれですが、すでに逆流性食道炎がある人や、普段からたまに胸やけの症状がある人は、除菌治療前に医師と相談されることをおすすめします。

最後に、ピロリ菌除菌が成功したからといって、今後、絶対胃十二指腸潰瘍、胃がんにならないということではありません。除菌が成功した後も一件落着ではなく、発がんのリスクが3分の1になってもゼロになったわけではないため、除菌後も、胃がんが発見されることは実際ありますので、定期的に胃の内視鏡検査や胃がん検診を受けることが必要です (図5)。



部署紹介 (長崎病院 在宅介護支援センター)

介護支援専門員 滋野 正洋

在宅介護支援事業所では、ケアマネジャー (介護支援専門員) が介護や介護保険に関する様々なご相談をお受けします。要介護者ご本人様やご家族のご要望をもとに、介護保険で受けられるサービスの紹介や調整、費用の計算等を当事者に代わって行います。

内容としては…

◎要介護者や介護者・家族等の相談援助

ご本人様やご家族様から直接電話をかけてこられる事や要支援の方が要介護と認定されると地域包括支援センターからの相談や長崎病院等いろいろ病院から患者様の退院後の生活についての相談があります。退院前に病院に出向き、主治医や看護師等関係スタッフ、ご家族様等から情報提供を受け、スムーズに在宅生活に移れるよう支援させていただきます。

◎介護保険申請及び更新申請の手伝い、代行

介護保険を更新するにあたり、介護保険要介護認定・要支援認定書を提出します。新規申請も更新申請等はご家族様でも行うことができますが、ほとんど私達が代行申請しています。

◎介護支援サービスの為の課題分析 (アセスメント)

初回訪問時や介護保険更新時などご本人

部署紹介 (訪問看護ステーションながさき)

おかげさまで10周年を迎えました

医療法人厚生堂長崎病院は、『地域に貢献する』包括医療、地域医療を理念に平成16年『訪問看護ステーションながさき』を開設。

今年で10周年を迎え、看護職員3人でスタートしたスタッフは、現在12人 (看護師, リハビリ職, 事務職) となりました。

これまで、諸先生方を始め、保健・医療・福祉関係の皆さまにご指導を頂き、そして多くのご利用者様に出会い、在宅看護 (リハビリ) に携わることが出来ましたことを心より感謝申し上げます。

在宅医療・在宅ケアの要の一つでもあります訪問看護は、長崎病院はもちろん近隣の医療機関や公立の総合病院等、また保健・福祉の多職種との連携により、

「住み慣れた地域でその人らしく」

「安心して」

「有意義に」

の気持ちを大切に思いをくみ取り、在宅生活のお役に立てることと存じます。

今後ともよろしく願い申し上げます。

所長 久保田 真理子



看護師	9人
理学療法士	1人
作業療法士	1人
事務員	1人

スタッフ内訳

外来担当医表

()内は専門外来		月	火	水	木	金	土
午前	1 診 内科	住田	長崎	原 (内分泌)	住田	長崎	原 (内分泌)
	2 診 内科	松本 原	木戸	向田	大森	横山	住田 横山
	3 診 皮膚科・熱傷	水野	身原	身原	身原	身原	身原 田中
午後	1 診 内科	大森	横山	木戸	向田	大森	向田 木戸
	2 診 内科	松島 (神経内科)			北村 (神経内科)	箱田 (ウツ・痛風)	
	3 診 皮膚科・熱傷	小島	鍋島	大谷 (熱傷)	入福	稲束	長崎 小島

※都合により、急遽担当医を変更する場合がございますのでお問合せください。(082-208-5801代) 外来受付まで)

～診療時間～

午前 8:30～12:00
午後 2:00～ 5:30

- ◎熱傷(やけど)は全日診療しています。
- ◎皮膚科は■で塗ってある日のみです。
- ◎月曜 午前2診: 第1 《松本》
第2,3,4,5 《原》
- ◎金曜 午後2診: 隔週 《箱田》
- ◎土曜 午前2診: 第1,3 《住田》
第2,4,5 《横山》
- ◎土曜 午後1診: 第1,4,5 《向田》
第2,3 《木戸》
- ◎土曜 午前3診: 第1,3,5 《身原》
第2,4 《田中》
- ◎土曜 午後3診: 第1,3,5 《長崎》
第2,4 《小島》

おしらせ

インフルエンザ予防接種について

下記のように予約制にてインフルエンザ予防接種を実施しております。

また、お子様の予防接種は小児科の方でお願いいたします。

詳しくは、外来受付までお問い合わせください。

日 時: 10月15日(水)～1月31日(土)

料 金: 3,780円

1,000円(広島市 65歳以上等)

肺炎球菌予防接種

肺炎球菌ワクチン予防接種を実施しております。

ワクチンの準備の関係がございますので、ご希望の方は、外来受付までお問い合わせください。

尚、今年度は助成制度がありますので、料金や対象者等は、お問い合わせください。

料 金: 7,636円

4,700円(広島市 対象者)

お問合せ: 長崎病院 外来受付

TEL082-208-5801(代)

大腸ファイバー検査

便通が気になる方、健康診断で便潜血が陽性だった方など、是非ご相談ください。

毎週木曜日の午後に、消化器専門医が検査を行っています。

お問合せ: 長崎病院 外来 TEL082-208-5801(代)

*健康増進

トータルヘルスセンター HOPE

(厚生労働省指定 運動療法施設)

☎082-238-1756

*予防医学

ヘルスケアセンター

(人間ドック・健診施設機能評価認定優良施設)

☎082-208-5791(代)

*治療 <<救急医療指定病院>>

内科(循環器・呼吸器・糖尿病など)

皮膚科・熱傷センター

☎082-208-5801(代)

*社会復帰

リハビリテーション(理学療法・作業療法・言語療法)

☎082-208-5801(代)

*療養・在宅

介護療養型医療施設

広島市中広地域包括支援センター

☎082-509-0288(担当:佐古・中村・中本)

居宅介護支援センター

☎082-230-8181(担当:滋野)

訪問看護ステーション ながさき

☎082-230-8183(担当:久保田)

グループホーム あいあいホームながさき

☎082-532-6636(担当:荻原)

デイサービスセンター ほほえみながさき

☎082-532-6630(担当:安永・武智・横地)

長崎病院のめざす「地域医療」「包括医療」

